

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2008.7.10
No.968

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

第40回全国保育団体合同研究集会

輝け！ 子どものいのちと笑顔
ひろげよう平和のねがい

とき 8月2日(土)～4日(月)
ところ 東京・有明コロシウム

元刈谷市職員 倉田康弘さんの過労死認定求め 名古屋地裁に提訴



「みなさんに支えられ、やっとここまで来ました」
刈谷市美術館に勤務していた倉田康弘さん(当時30才)の過労死認定を求めて、妻・利奈さん(自治体一般組合員)は8日、名古屋地裁に提訴しました。

倉田さんは96年4月、水道管理課から異動で刈谷市美術館勤務となりました。その直後から時間外勤務、休日出勤が恒常化し、退庁時間は午後10時を過ぎるようになりまして。さらに、97年の人事異動で上司2人が配置換えになったことや、98年の機構改革によって、管理職以外の事務担当者が増え、倉田さん一人になってしまったことで多忙を極めました。いつも仕事を持ち帰らなければならず、就寝は深夜2時3時になることがざらでした。

“同じ悲しみくり返したくない”

を受けながらも、忙しくて病院に通えない状態が続きました。しかし、仕事は軽減されず、年末には「正月くらいは休もうかな。このままじゃ俺、過労死するかもしれないな」と利奈さんに話していた矢先の、98年12月30日夜、幼い子2人と妻を残し、くも膜下出血で急死しました。

98年4月1日から12月30日までの間の、倉田さんの時間外勤務は、記録簿に残された以外に、休日や早出



原告の倉田利奈さん

末、02年5月公務災害基金愛知県支部に公務災害の認定申請を行い、立ち上がりました。しかし、05年7月

の出勤、持ち帰り残業を含め、1048時間・1週あたり約27時間でした。加えて、経験者が他におらず、精神的にも質的にも過重な公務を強いられました。裁判傍聴など支援の輪ひろげよう

利奈さんは長い間悩んだ



提訴後の記者会見

7月8日、名古屋地裁前には50人程の支援者や弁護士が集まり、倉田さんを激励しました。トヨタ自動車内野過労死認定裁判で勝利した、内野博子さんも応援に駆けつけ、「1歩1歩進んでいけば必ず勝利すると思えます。勝利のためにがんばりましょう」と訴えました。「支援する会」からは、裁判傍聴など支援の強化が呼びかけられました。

広域化では住民のいのちは守れない 消防広域化問題学習会



「消防の広域化で、住民の生命・身体、財産が守られるのか」をテーマに、6月28日、愛知県本部と自治労連本部共催の学習会が開かれました。自治体消防を守り充実させることが、火災等の災害から国民の生命・身体・財産を守る重要な課題であり、この立場で消防組織の充実・強化の議論を進めるべきである」と強調されました。

「刈谷市の職員は、全国7県本部から参加者がつどいました。消防防災専門家の小竹氏は「火災発生から8分、11分以内に消火が始められなければ延焼がすすむ。消火の基本はこれをくい止める、被害を最小に抑えること。広域化でこうした初動体制が強化されるのでしょうか」と、現場の実態を踏まえて広域化の問題点を報告。「市町村の消防は、消防庁長官又は都道府県知事の運営管理又は統制管理に服することはないと、自治体消防」の原則を消防組織法で明らかにし、「今、自治体消防を守り充実させることが、火災等の災害から国民の生命・身体・財産を守る重要な課題であり、この立場で消防組織の充実・強化の議論を進めるべきである」と強調されました。

「組合って素晴らしい」
原告・利奈さん
康弘さんが急死してから提訴までの10年、利奈さんを支えて来たものはなんだったのか。
「葬儀の席で、康弘さんは過労死だ」と言っていた市の関係者が私たち家族から去っていき、夫や私を今まで知らなかった多くの方々が、支援しようと集まって下さり、支えてもらい、やっとここまで来ました」
「刈谷市の職員のほとんどの方には残念ながらそっぽを向かれている状況です。労働組合がない刈谷市では、職員が何も言えない環境で働いているのだと思います。私はこのたかきを通じ労働組合の大切さを実感しています。」「二度と私たちのような重いものを背負わされる家族が増えないように、子どもたちと一緒に最後までたかきつていきます。みなさんこれからも傍聴・支援をよろしくお願いします」と公務上認定に向けた決意を語ってくれました。

当局の一方的な改定は許せない

抗議集会ひらく 岩倉市職

勸奨退職制度の一方的な改定は許せないと、6月25日、岩倉市職は抗議集会をひらきました。市当局は昨年6月、「急激に職員が減少したことで、勸奨退職制度の目的が達成された」として、一般職員について07

年度で廃止すると提案してきました。組合はこの制度の扱いについて、廃止も含め当局と話し合いをすすめてきました。組合は「賃金・労働条件の見直しについては、これまで、当局と真摯に協議してきた。今回の一方的な不利益変更は、根拠や手続きがきわめて乱暴であり、許し難い行為である」と、撤回をもとめてたたかいをすすめてきました。



この日の集会には組合員など70人以上が参加。執行部は「変更部分を撤回させるために、組合員すべての力を結集し、ねばり強くたたかおう」と提起し、大きな拍手で決意を固めあいました。また県本部の後藤賃金調査部長が「県下の単組にも、岩倉市当局への抗議FAX、岩倉市職への激励FAXを呼びかけた。当局が一方的に賃金・労働条件を見直したことは決して許してはいけません。県下の単



総務部長へ決議文を読み上げる

組も激励している。みなさんの怒りの声を当局にぶつけよう」と激励。全員集会の決議文を採択したあと、集会参加者全員で総務部長のところへ行き、決議文を読み上げ、「ねばり強くたたかうぞ」とシヨプレヒコールをあげました。

沖縄の平和の願いを受け止めて

名古屋市職労青年部ピースツアー

日、沖縄平和ツアーを開催しました。34人の青年が参加し、過去の沖縄戦の事実や、現在も続く米軍基地とのたたかい。沖縄が発信しつづける平和の願いを学びました。

平和と環境を守るため負けられん エメラルドの海。白い砂浜をわける有刺鉄線は、米軍基地との境界線です。初日、参加者が訪れたのは米軍の新基地建設予定の「辺野古の海」。青年部は基地建設に反対し、1500日以上座り込みを続けている安次富(あしとみ)さ

市の話しを聞きました。「この先にイラクで殺戮する米軍部隊がいる。平和と環境のために負けられない。ジュゴンや珊瑚を守り観光産業を盛りたてれば、経済面でも現在米軍がもたらす利益を上回ることができると。新基地は絶対に作らせ



参加者は3日間の行程で、ガマ(防空壕)や米軍基地、追悼式を見学しながら、沖縄戦の深い傷跡を見ました。また今もなお基地で苦しんでいる住民の実態を知りました。「慰霊の日には沖縄の人にとって重みがあると感じた」「戦争の前方が少し変わった。沖縄のこと関心を持って考えていくテーマだと思った」と参加者は、戦争のむごさや沖縄戦の悲惨さなど感想を出していました。

熱戦を制したのは豊橋

第30回県本部野球大会

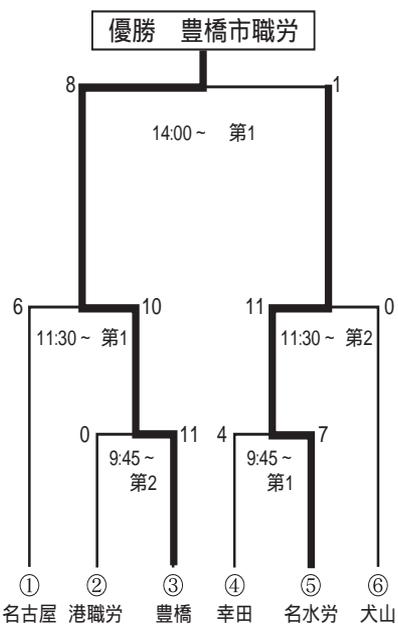
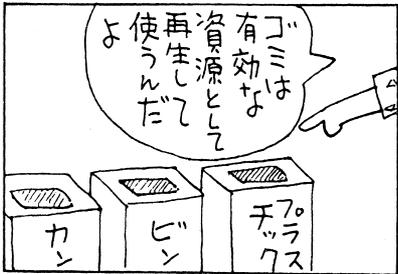
7月5日の猛暑の中、豊橋市石巻運動広場野球場にて、第30回県本部野球大会を開催しました。今年は6チームでのたたかいとなり、熱戦が展開されました。決勝戦は、昨年同様好投手と強力打線を擁する豊橋市職労チームと同じく、好投手を擁立し、俊足好打の

名水チームが進出しました。試合は豊橋が、2回表に名水労のエースをとらえ、強力打線が爆発し4点を先取。さらに4回表にも4点追加。名水労も豊橋に食い下がり4回裏に打線がつかがり反撃にできましたが、1点をかえすにとどまり豊橋

市職労チームが優勝しました。どちらも猛暑の中、一日3試合の連戦をこなすレベルの高いチームで、チャンスを得点にできる強力打線と、厚い選手層が充実しているのが特徴でした。優勝した豊橋市職労チームは8月の東海北信ブロック大会に出場します。

ニクス笑ア7

芝田☆友衛



原水爆禁止2008年世界大会に参加しよう!

8月4日(月)~6日(水)in 広島

- 4日 開会総会 (14:00~16:30) 広島県立総合体育館グリーンアリーナ
- 5日 分科会・分散会・動く分科会 広島市内各所 (9:30~15:00)
- 6日 2008年ヒロシマデー集会(閉会総会) 広島県立総合体育館グリーンアリーナ

核兵器のない平和で公正な世界を

単組定期大会 役員紹介 (6月19日)

名水労 (6月19日)

執行委員長 水谷 達也

副委員長 大井 文二

書記 近藤 夏樹

記次長 近藤 睦美

長 渡辺 泰

佐賀 達也